

エトヴェシュ・ローランド大学 (ハンガリー)

幸運なことにルームメイトに恵まれ、この2か月間、毎日ホームシックもなく楽しく過ごすことができました。英語力に関しては、自分の言いたいことがうまく伝わらないこともあって、悔しく思うことも多々ありますが、とにかく口数を増やしてキャッチボールをすることを心がけました。また、オンライン授業ばかりで、大学での友達作りに苦戦しましたが、語学の授業は対面形式なのでほかの学部の留学生とも徐々に交流を深められています。新しい土地での暮らし、授業スケジュールにも慣れてきて、毎日のルーティンも少しずつですが確立し始めています。

交通機関も地下鉄、路面電車、バスと非常に発達しているのもブダペストの特徴であると思いました。留学生含む学生が多く暮らしているため、市内の交通機関が1か月乗り放題になる学生パスが3450HUF (=1250円) で購入できるため、様々な場所にアクセスしやすいのも、魅力的であると感じています。キャンパスで開かれる授業が週に3コマあるので、学生パスを購入し路面電車に通学しています。

オウル大学 (フィンランド)

10月になり、冬がきた。ある日、日本では30℃前後に対し、フィンランド・オウルでは雪が降り、-7℃ (体感温度-14°) になっていた。服装に関しては、まだ日本から持ってきたものを重ね着する程度で十分であった。大まかに、10月前半は、第1クォーター (Period1) の期末テスト、後半は秋休みという予定だった。10月の学習に関しては語学に力を入れた。特に専門分野の講義に関しては英単語をしっかり復習していかなければならないと感じた。また第2クォーターはその復習内容を活かし専門分野 (経営学) に力を入れるつもりだ。

フィンランドにはどの国と比べても、多くのセカンドハンドストアが存在しており、1年間の滞在である僕にとっては、新しいものを買う必要がないので、よく利用している。また、商品状態も良い。

各国から留学しに来ているたくさんの友達と毎日一緒にいるととても楽しいし、彼らが頑張っている姿を見ると自分もやる気が出る。このまま気を抜かず頑張っていきたい。

ゲーテ大学経済経営学部 (ドイツ)

オンラインでの授業は録画がされているため、復習がしやすい環境です。授業後は授業で分からなかったところや付いていけなかったところの復習に時間を費やしています。また、ドイツ語の勉強に関しては、大学が提供しているドイツ語学習のためのアプリがあるので、そのアプリを使って週に5時間を目標に勉強しています。最近、私のパディが誘ってくれたLGBTに関するワークショップにも参加してみました。ドイツ語でのワークショップだったので、まだ私には難しかったのですが、ワークショップが終わると皆で軽食と取りながらお喋りができて、勇気を出して行ってよかったと思いました。

今月は、授業が始まり慣れないことも多かったのですが、自分なりに勇気を出しているいろいろと挑戦した一か月でした。11月もさらに一歩踏み出して、多くの方と関われる一か月になるように頑張りたいと思います。

ベネチア大学 (イタリア)

イタリアでの生活を始めてから早くも2カ月が経過しました。寮での生活や授業にも慣れ、周辺の都市へ足を延ばす余裕も出てきました。冬服は持ってこなかったのですが、日本よりも寒く、慌ててダウンとコートを買いました。

ESN(ERASMUS STUDENT NETWORK)という留学生のコミュニティがあり、充実した日々を送っています。1人暮らしに慣れていたため共同生活はストレスが溜まることが多いですが、幸い悩みを聞いてくれる日本人の友人がいるのでやっていけています。

高麗大学校 (韓国)

10月に入り、授業の課題や授業スタイルなどにも慣れ、1週間の時間の使い方も定まってきました。また、授業の課題3週目から中間テスト期間で、テスト勉強や普段の課題を行っていたら忙しくもとてもあっという間に1か月が過ぎました。

中間テスト期間では、PRODUCTION AND OPERATION MANAGEMENTとKOREAN FOR BEGINNERSの授業で対面による筆記テスト、KOREAN CULTUREの授業ではオンラインによる試験で学習した韓国についての基礎情報や伝統的な衣食住について問う設問や、作文によりそれらを説明するというものでした。また、KOREAN CULTURE AND MEDIAでも同様にオンラインによる試験で、韓流ブームについての説明と今後このブームはどうなっていくのかについて自分の意見を書く設問と、メディアを2つに分類するとどのように分類できるか自分で基準を作り説明するといった課題でした。

10月の初めにはKOREAN CULTUREのクラスで韓国料理の調理実習を行いました。韓国料理の代表であるチャプチェとチヂミを作りました。調理実習は外のスペースでテントとテーブルを用意して、ガスコンロで行いました。普段の授業がオンラインであるため、この調理実習で直接、先生や友達と会い行えたのでとても楽しかったです。先生から教わるレシピでチャプチェを作る際に、想像以上に砂糖を入れていたので私も驚きましたが、アメリカの子たちは私以上に驚いてストップと言っていたほどでした。アメリカでは食事はしょっぱいものというのが当たり前で、韓国の甘さが強い食事はカルチャーショックの1つのようなのです。それでも出来上がってみるとどれもとても美味しかったです。

授業はオンラインでカメラをオンにしており、発言のある授業も多いので、寮の自分の部屋で受けています。時々ルームメイトと時間が被ることもありますが、それぞれイヤホンで授業を受けるので特に気になるほどではありません。平日の空き時間などには、図書館の自習スペースなどに行って課題を行ったり、録画された講義を見て、難しいところを理解できるよう何度か聞いたり、分からない単語を調べながら学習を進めています。